

令和6年度「人権教育研究指定校事業」指定校事業報告書

委託先（新潟県）

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	差別を自分の問題としてとらえ、 自他の人権を大切にする主体的な行動力の育成
----------	--

○調査研究のテーマを設定した目的

当校は、同和教育を中核とした教育課程の編成・実施・評価・改善に取り組み、児童の発達段階や社会状況等に応じて、取り上げる人権課題と学習方法の検討と改善を図りながら実践を積み重ねている。そのため、日常生活において互いの個性を認め合い、励まし合ったり、助け合ったりする態度が育っている。一方で、いじめの問題や差別事象に対する受け止めが表面的な子どもも見受けられ、主体的に人権問題の解決のために行動する力は十分に育っているとは言えない。そこで、児童主体の人権教育、同和教育の授業の実施、改善に取り組み、自他の人権を大切にするために主体的に行動する力を高めたいと考え調査研究のテーマを設定した。

○調査研究の概要

人権教育、同和教育の授業（以後、同和学习）において、自分自身の言葉で差別事象への考えやおもいを表したり、他者との「対話」を通じて思考を深めたりする活動の充実を図った。子どもの「対話」に着目することで、子どもが差別事象をどのようにとらえ、授業の中でそのとらえをどのように変化させているのかを見取り、同和学习において再構築された差別事象や自分の行動へのおもいが、自他の人権を大切にする姿にどのように結びつくのかを検証した。

その結果を「3期3類ひがし同和学习プラン」「年間指導計画」に反映させるとともに、「人権教育、同和教育学習指導案・資料集『愛・いのち第5集』」にまとめ、新潟県全域での人権教育、同和教育の充実につなげる。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

上越市立東本町小学校

○これまでの研究指定等の状況

1986年度文部省研究指定

○学級数

15学級（うち特別支援学級：3学級）

○児童生徒数

全校児童数：358人（令和7年1月31日現在）

○URL

<http://www.e-honcho.jorne.ed.jp/>

○指定理由

本県では、新潟県人権教育基本方針を定め、すべての学習機会を通して、人権尊重の精神に基づき、一人一人の個性や多様性を認め合い、自他の人権を守る行動力の育成を図る人権教育を推進している。県内のすべての小・中学校で人権教育、同和教育に関する教職員研修を実施しており、各校は年間指導計画を作成して、同和問題をはじめとする個別の人権課題に関する学習に取り組んでいる。

しかし、社会の変化に伴って顕在化してきている人権課題にどのように向き合っていくかが課題となっている。人権教育を取り巻く国や国際的な動向、新たな人権侵害が発生している状況を踏まえ、取り扱う人権課題を具体的に設定し、実践を行っていく必要がある。

本調査研究においては、他者との「対話」を通じて思考を深める活動の充実によって、自他の人権を大切にする姿＝実践行動力にどのように結びつくのかを検証することとしており、様々な人権課題へどのように向き合っていくのかという点も含めて成果が期待できる。また、発達段階に応じた人権課題を取り上げた同和学习プランは、教科横断的な視点をもって学習内容を関連付けたり、指導方法を工夫したりしており、カリキュラムマネジメントの実践としての成果も期待できる。

上越市立東本町小学校は毎年11月に同和教育研究会を開催しており、県内外から多数の参加者が同校の取組から学んでいる。本研究指定事業に取り組み、その成果を県内で広く共有することは、本県における人権教育の推進に大きく寄与するものと見込まれる。

3. 取り組んだ人権課題について

取り組んだ人権課題（該当するものに○印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題1つに◎をつけること。）※人権教育研究推進事業公募要領（別紙）「2. 事業の内容」を必ず確認すること。

① 子供	○
② 女性	
③ 高齢者	
④ 障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	○
⑧-1 HIV感染者等	
⑧-2 <u>ハンセン病患者等</u>	○
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	○
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	○
⑭ その他（ ）	

4. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

調査研究のテーマで示した子どもの姿を目指すために、以下の仮説に基づき、「対話」のある授業を実施し、子どもの姿の変容からその有効性を検証する

差別事象と出合った子どもは、自らの直感・直情で差別事象をとらえる。しかし、そのとらえは、表面的で一面的な思いになりやすいと考える。その後、他者との「対話」によって、差別事象に対する多様なとらえがあることに気付く。他者との「対話」によって、子どもは葛藤や疑問を重ねながら、多様な価値観を踏まえた内なるおもいを自己との「対話」からつくっていくと考えられる。授業の終末で、子どもは「対話」によってうまれたり広がったりした気付きを整理し自らと向き合いながら自分の行為・行動をつくり変える。「自分は、差別に対して、こうありたい」「差別のない社会をつくりたい」…こうした子どもの姿は、差別を自分の問題としてとらえ、自分の生き方に向かう姿と言える。

○実施方法

① 「対話」を重視した同和学習の実施

自身のことばで差別事象への考えやおもいを表したり、他者との「対話」を通じて思考を深めたりする活動を充実させる。他者とのかかわりから自分の価値観や行動を見つめなおす活動を充実させるために、イメージ図(図1)を意識して授業を構想する。

② 学びの連続性を意識した「3期3類ひがし同和学習プラン」に基づく活動の実施と改善

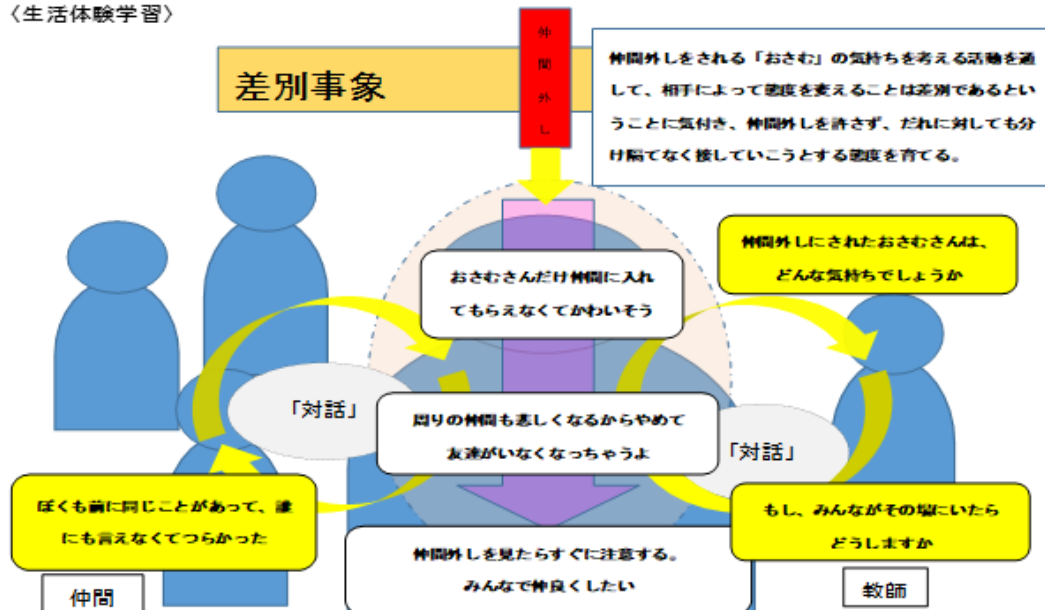
「差別を自分の問題としてとらえ、自分も人も大切に子ども」を目指す子どもの姿として、「3期3類ひがし同和学習プラン」に基づき、授業実践に取り組んだ。人権教育を取り巻く国や国際的な動向、新たな人権侵害が発生している状況を踏まえ、取り扱う人権課題を具体的に設定し、「同和教育に関する年間指導計画」を見直し、総合的な学習の時間・各教科・道徳・特別活動等と関連を図りながら、意図的・継続的に同和学習を実践し、改善する。(図2)

③ 自他の人権を大切にする主体的な行動力をはぐくむ教育活動の実施

主体的な行動力をはぐくむため、知的理解と人権感覚をバランスよく身に付けさせていくことが重要だと考える。主体的な行動力を高めるイメージを意識して、「幸せな学校をつくる」を合言葉にして、各学級での取組を「しあわせ集会」で紹介し合ったり、児童会活動で全校児童が楽しめるイベントを主体的に実施する。

＜図1 子どもの学びの様相にもとづく授業イメージをもって実施した授業例 1学年＞

（生活体験学習）



＜図2 改善を図った「3期3類ひがし同和学习プラン」＞

3期3類 ひがし同和学习プラン									
同和学习の 取り上げ方	取り扱う差別事象例	Ⅰ 期		Ⅱ 期			Ⅲ 期	同和学习の 類型	
		一年	二年	三年	四年	五年	六年		
身の回りの差別問題	頂点に基づいて学校生活の中で起こりうる差別	いじめ 仲間外し 決め付け 偏見 不公平 傍観 からかい グループへの固執 インターネット	◎	◎	◎	◎	◎	◎	生活体験学習 学校生活や身近な実生活の中で差別問題を通して、差別を止め、差別をしない、さげない、許さないという態度と社会的技能、自己有用感を培っていく。
	体のことに対する差別	におい 見た目 よこれ 病気・やけどなど	◎	◎	○	○	○	○	
	性のことに対する差別	男だから 女だから 多様な性の尊重	○	○	○	○	◎	○	
社会で起きている差別問題	障がいのある人に対する差別			○	◎	○	○	○	社会参加学習 社会生活で起きている人権意識や差別問題を題材とし、教員の意見を相対し、痛みや苦しみを共感し、相手のことを考えた行動ができるようになる。
	高齢者に対する差別				◎	○	○	○	
	職業差別 と畜解体業 ごみ収集業				◎	◎	○	○	
	外国人差別				◎	○	○	○	
部落問題	病気にかった人への差別	新潟水俣病 ハンセン病				○	◎	○	部落問題学習 部落差別に因襲の深い事象を題材とし、差別の歴史、部落の歴史、社会的な背景を正しく理解し、差別解消に向けた実践行動力を培っていく。
	差別の歴史 以下の中から選択して学ぶ ケガレ・キヨメ 差別文化 解体新書(蘭分け) 洪染一揆 伊勢参り 解放令 水平社宣言と西光万吉 現在も続く差別 以下の中から選択して学ぶ 結婚差別 就職差別 職業差別 識字 部落差別解消推進法 インターネット上の差別						○	◎	

○検証・評価・改善・普及

<検証・評価>

知識的側面・価値的態度的側面・技能的側面について次の方法で検証・評価した。

○学校評価アンケートの比較（7月と12月に実施）

(児童)	ア	学校は楽しい。	97.0%→96.0%
	イ	友達と仲良く活動や学習ができた。	97.0%→96.0%
	ウ	自分もまわりの人も大切にした。	97.2%→95.7%
	エ	自分のよいところが分かる	80.9%→80.9%
(保護者)	ア	子どもは学校を楽しんでいると感じている。	97.8%→95.4%
	イ	子どもは相手の立場に立った言動をしている。	82.5%→85.6%
	ウ	子どもは自分のよさに気付いている。	75.2%→76.0%

児童、保護者ともに「学校生活を楽しんでいる」の項目で95%以上の高い結果であった。また、相手の気持ちを考えて行動している児童が多いことが分かる。実際の生活場面では、困っている友だちに声を掛けたり、異学年グループ活動で、高学年が低学年を優しく導いたりしていた。今年度「幸せな学校をつくる」を合言葉に、学級や児童会活動で児童の主体的な活動を支援してきた。特に効果的だったのは、友達の温かな行動を全校放送など様々な場面で紹介してきたことである。教室で放送を聞いている子どもたちから自然と拍手がおこるなど、温かな雰囲気醸成されている。

○学校生活アンケート6月と11月の比較

ア	いじめ（差別）がいけない理由を説明できる（知）	78.1%→82.9%
イ	いじめ（差別）をしない、許さない気持ちがある（価）	94.6%→95.6%
ウ	自分や友達の気持ちを大切に、誰とでも協力している（技）	93.4%→94.8%
エ	友達が困っているとき自分から助けている（技）	91.8%→95.8%
オ	人権や差別の問題について関心をもっている（価）	96.6%→96.5%

7月の調査では、ア「いじめ（差別）がいけない理由を説明できる」の数値が低かったが、具体的な差別事象を扱った授業では、ほとんどの児童が説明できていた。エ「友達が困っている時自分から助けている」については、4ポイント上がった。同和学習において自分の行動を見つめる「対話」を大切にしたら結果だと言える。また、オ「人権や差別の問題に関心をもっている」についても高い数値であった。「同和学習はみんなが幸せになる学習だから好き」と理由を述べる児童が多数いる。

○自分事として考え、行動につなぐ同和学習の実施について

現地学習会を始め、「東京都中央卸売市場食肉市場」「産業・教育資料室きねがわ」「国立ハンセン病資料室」「新潟県立環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館）」等で、指導者自身が主体的に研修を行い、人権感覚を高めたことが有効だった。そし

て、図1のように「子どもの学びの様相にもとづく授業イメージ」をもって授業を実施した結果は、以下のとおりである。

<「同和学习シート」から見取った結果：事業開始時と事業終了間際の比較>

ア	被差別者に共感し、差別に憤っている（価）	93.9%→98.6%
イ	自分の行動を見つめ直している（技）	74.7%→88.1%
ウ	自他の人権を守るために自分は何をするのかを具体的に考えている（知）	85.3%→96.2%

同和学习の場面では、被差別者の気持ちに共感し、偏見や差別に憤っている児童がほとんどで、発言や対話は活発に行われた。「自分の行動を見つめ直している」については、おもいはあっても相手に伝えるために話したり、書いたりすることが苦手な児童がいることが分かった。おもいを表現する力を高める必要がある。「自他の人権を守るために自分は何をするのかを具体的に考えている」については、「決め付けはしない」「差別はしない」「人に伝える」等の記述はあるものの具体性に欠けている児童がいることから、他者との「対話」を通して、具体的に行動目標を考えさせていかななくてはならない。

○同和教育研修会(11月15日実施)における地域、他校教職員アンケート分析

全学級が同和学习の授業を公開し、さらに部落差別問題にかかわる講演会を行った。322名の参観者へのアンケートを実施した。客観的な意見をもとに来年度の取組に生かす。

<同和学习に関して>

- ・ 机の配置の工夫が子ども同士の対話が増えることにつながっていた。場面絵を使って資料を提示した時に、入り込んでつぶやいている子が多く、自分事になっていた。(1学年)
- ・ 資料の提示と教師のねらいに迫る問い直しがすばらしかった。子どもの発言をつなげる教師の役割が大切だと感じた。(2学年)
- ・ 総合的な学習で障がいのある方と交流したり、疑似体験をしたりしたことが活かされていると分かる発言が多く、思考の深まりが感じられた。(3学年)
- ・ ネット上での差別を取り扱うテーマの授業の重要性を感じた。「今まで学習してきた差別と何が違う?」という問いかけでネット差別のこわさに気づき、「対話」が深まった。(4学年)
- ・ 多様な性の在り方について、無意識の偏見や普通という思い込みがもつ「こわさ」について考えさせる意義は大きいと感じた。(5学年)
- ・ 水平社創立大会に参加した人の葛藤、水平社宣言に込められたおもいを考える場面では、教師と児童、児童同士の対話が活発で、新たな気づきや自分の行動を見つめることができていた。これまでの学びの積み重ねが感じられた。(6学年)
- ・ うちの子は、同和学习の授業が大好きだそうです。自分の知らなかったことを知ったり、いろいろな人と出会えたり、友達と意見を言い合えることも楽しいと話しています。同和学习は、相手の立場になって考えることができるので、これからも続けてほしいです。(保護者)

<講演会に関して>

- ・ マイノリティーの人たちは、「悩まなくていいことで悩む」という言葉が心に残った。もっと研修を積んで人権感覚を磨いていかなくてはいけないと感じた。(教員)
- ・ 当事者に学ぶことがとても大切だと思った。教員である自分たちがすべきことは多く、少しでも多くの子どもの心を救いたいと心から思った。(教員)

<普及>

○保護者、県内小中高等学校、教育委員会等を対象とした同和教育研修会を11月15日(金)に実施した。参観者の意識変容については上記のとおり。(今年度の参観者 約

322 人)

- 人権教育、同和教育学習指導案・資料集「愛・いのち第5集」を発刊（270冊）し、上越市を初めとして新潟県全域での人権教育、同和教育の充実につなげた。
- LGBTs啓発団体の方を講師に9月11日（水）に人権教育親子学習会を実施した。（約50名の保護者が参観）同日、全学級で人権教育、同和教育の授業を実施し、多くの保護者が参観した。
- 人権教育、同和教育だより「かけはし」を7月19日、10月15日、12月18日の3回発行し、人権教育、同和教育の授業や同和教育研修会の様子を伝え、保護者・地域への啓発を図った。

—かかわり合い、学び合いながら、心豊かに生きる子どもの育成—

3年生

※これは、年度当初の年間指導計画です。

教科	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教科	<p>■「動物の気持ち」を確かめ、想像したことを伝え合う。</p> <p>■「しげんのかんづつ」見たりさわたりしながら自然に触れる。</p>	<p>社「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p> <p>■「動物をそだてよう」植物の生長に感動しながら観察をする。</p>	<p>■「友だちのきき」登場人物の変化に気づいて読み、好きな場面について伝え、互いの考えを認め合う。</p> <p>社「けいけいようす」上手に相手に誘って愛情をもつ。</p>	<p>■「仕事のかう、真つけたよ」相手態度や目的意識をもって、報告を書く。</p>	<p>■「こんなおもしろい」得意の得意や相違点を挙げて話し合う。</p> <p>■「はたらく人とわたしたちのくら」身近な環境で、人々が変化や生活に関する責任を担っていることを実感する。</p>	<p>■「ちいちゃんのかげおくり」登場人物の行動や会話から、人物の気持ちの変化や性格、情景を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「おすまじのせつめい」流行語について、話で話していることを感じる。</p>	<p>■「すがたをかえる大くり」調べたことを基に、自分や相手の考えを伝え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「おすまじのせつめい」流行語について、話で話していることを感じる。</p>	<p>■「三年どうだい」登場人物の行動や気持ちを通して、遠くまで届くことを実感する。</p>	<p>■「ありの行方」文章を読んで感じたことを共有し、多様な読み方があることを実感する。</p> <p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>
特別教科道徳	<p>「静かならでる」(敬愛、節制)</p> <p>「気持ちいい」(礼儀、挨拶)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「かみゆき」(愛郷、愛郷)</p> <p>「動物をそだてよう」(自然観察、自然観察)</p>	<p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p> <p>「けいけいようす」(礼儀、挨拶)</p>	<p>「仕事のかう、真つけたよ」(責任、責任)</p> <p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「こんなおもしろい」(責任、責任)</p> <p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「ちいちゃんのかげおくり」(責任、責任)</p> <p>「おすまじのせつめい」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「すがたをかえる大くり」(責任、責任)</p> <p>「おすまじのせつめい」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「三年どうだい」(責任、責任)</p> <p>「ありの行方」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「ありの行方」(責任、責任)</p> <p>「おにんごころ」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>
同和学習	<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>		
総合的・学級活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											
特別活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											
学級活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											

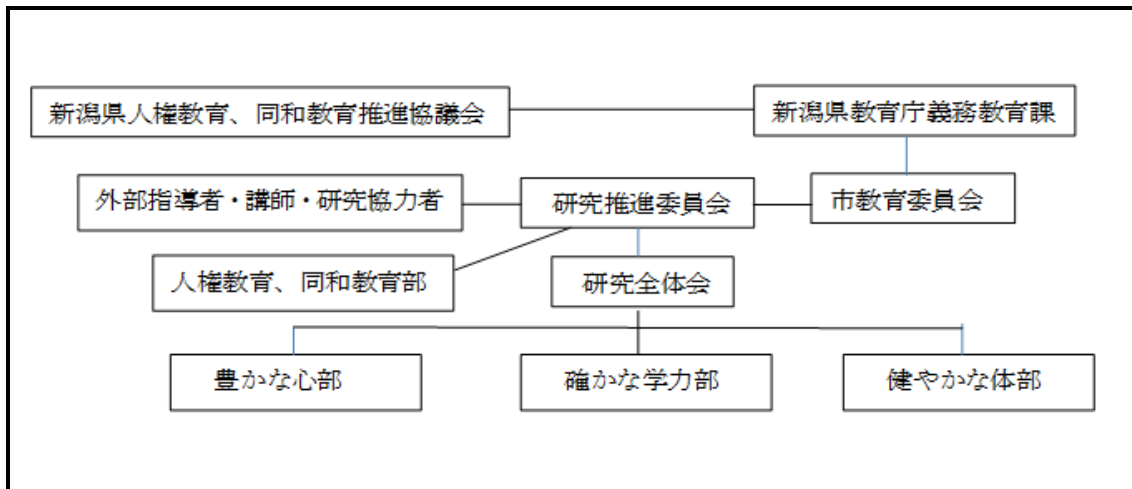
—かかわり合い、学び合いながら、心豊かに生きる子どもの育成—

4年生

※これは、年度当初の年間指導計画です。

教科	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教科	<p>■「白ひょうし」作品について、友達と話し合い、感想を伝え合う。</p> <p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p>	<p>社「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p> <p>■「動物をそだてよう」植物の生長に感動しながら観察をする。</p>	<p>■「友だちのきき」登場人物の変化に気づいて読み、好きな場面について伝え、互いの考えを認め合う。</p> <p>社「けいけいようす」上手に相手に誘って愛情をもつ。</p>	<p>■「仕事のかう、真つけたよ」相手態度や目的意識をもって、報告を書く。</p>	<p>■「こんなおもしろい」得意の得意や相違点を挙げて話し合う。</p> <p>■「はたらく人とわたしたちのくら」身近な環境で、人々が変化や生活に関する責任を担っていることを実感する。</p>	<p>■「ちいちゃんのかげおくり」登場人物の行動や会話から、人物の気持ちの変化や性格、情景を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「おすまじのせつめい」流行語について、話で話していることを感じる。</p>	<p>■「すがたをかえる大くり」調べたことを基に、自分や相手の考えを伝え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「おすまじのせつめい」流行語について、話で話していることを感じる。</p>	<p>■「三年どうだい」登場人物の行動や気持ちを通して、遠くまで届くことを実感する。</p>	<p>■「ありの行方」文章を読んで感じたことを共有し、多様な読み方があることを実感する。</p> <p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>	<p>■「おにんごころ」登場人物の気持ちの変化や性格を捉え、手紙に伝わりやすく文章を書く。</p> <p>■「わたしたちのまち」身近な地域に愛情を持って伝える。</p>
特別教科道徳	<p>「静かならでる」(敬愛、節制)</p> <p>「気持ちいい」(礼儀、挨拶)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「かみゆき」(愛郷、愛郷)</p> <p>「動物をそだてよう」(自然観察、自然観察)</p>	<p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p> <p>「けいけいようす」(礼儀、挨拶)</p>	<p>「仕事のかう、真つけたよ」(責任、責任)</p> <p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「こんなおもしろい」(責任、責任)</p> <p>「はたらく人とわたしたちのくら」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「ちいちゃんのかげおくり」(責任、責任)</p> <p>「おすまじのせつめい」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「すがたをかえる大くり」(責任、責任)</p> <p>「おすまじのせつめい」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「三年どうだい」(責任、責任)</p> <p>「ありの行方」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「ありの行方」(責任、責任)</p> <p>「おにんごころ」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>	<p>「おにんごころ」(責任、責任)</p> <p>「わたしたちのまち」(愛郷、愛郷)</p>
同和学習	<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>			<p>差別をもつて行わない「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>		
総合的・学級活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											
特別活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											
学級活動	<p>「わたしたちのまち」を身近な地域に愛情を持って伝える。</p>											

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）



○関連資料

上越市立東本町小学校 板書写真①.



上越市立東本町小学校 板書写真②

